

おろぎぼうやもあいさつしたくて、ちいさなはねをこしこしこし」というフレーズのところでは、目や口の動きが止まり、よく聞いています。繰り返してフレーズを読むとさらにじっと集中して聞いています。言葉と言葉の間があくと、次の言葉を待っているようにはキヨロキヨロと顔や眼球を動かしてしています。再び読むと、またじっと集中して聞いています。「おしまい」になるとふーっと息をはきます。これは、ずっと気持ちが集中がふつと途切れたのだと思っています。とても集中して聞いていたのだと感じました。

優しい響きの音の活動では、職員が木魚や木のボールなどを使ってリズムを打っていると、キヨロキヨロと音源を探すように目を動かして、音の方に顔を向けて聞き始めます。「トントントン・トントントン・トントントン・トトン」というような単調な繰り返しに少し変化をつけたりズムを打つと、とても集中して聞いています。優しい響きのある音や音のリズムをよく聞いているようでした。



読み始めると職員がいるほうに向きを変えてじつと耳を傾けて聞いています。『たあんきぼおんきたんこりりん』の「じやがたじやがすけじやがえもん：」という「じやが」という言葉が多く入ってテンポ良く繰り返される部分では、言葉のリズムの面白さを感じて口元を緩め微笑んでいます。歌に合わせてリズムを打つ活動では、『茶摘み』や『幸せなら手を叩こう』の歌に合わせてリズム打ちをしました。『幸せなら手を叩こう』では「幸せなら手を叩こう」と歌を集中して聞いています。リズムの間があくと次の始まりをじつと待っています。テンポの良い

だい一の 日常活動紹介

歌と、繰り返される言葉やりズムにおもしろみを感じているようです。

興味があること、好きなことを集中して楽しんでいる姿は、とても輝いて見えます。日常活動が、利用者さんの輝く時間となるように活動を行っていきたいと思つていま

りと自分なりのリズムを感じている様子がみられます。繰り返すことで、腕を大きく動かす、リズムよく床を叩くなどの動きが増え、気分が高まり、よりリズムを楽しんでいるようです。

ゆつたりとした曲調のものになると、じつと動きを止め集中して聞いています。時々リズムに合わせるように指を動かしたり床を叩いたりすることがありますが、弾むような曲調の歌の時と比べると動きがとても小さくゆつくりしています。弾むような明るい曲とゆつたりとした曲ではそれぞれに楽しみ方が違い、曲調の違いを感じて楽しんでいる様子がみられます。

る様子がみられます。絵本の語りかけで『まっくろネリノ』という絵本を語りかけると、黒い背景に赤や黄色、緑といった色で鮮やかな模様が描いてあるページのところで視線を向けました。鮮やかな色彩を見ているようでした。そうではないところでは、職員の顔をジッと見ながら語りかけに耳を傾けていました。語りかけを聞いて楽しんでいました。

今後も一人ひとりが楽しめ充実した時間を過ごせるような活動を提供していきたいと思います。



Aさん(横地分類A6)は声をかけたり視線を合わせたりすると、恥ずかしそうに下を向いたり笑顔になつたりします。また、職員に呼びかけるようにして、目が合うと手を振る、うなづくなどして、職員との関わりを楽しんでいます。

日常活動では、弾むような明るい曲調のものを歌いかけると、はじめはじつと職員を見て、いくと、自分の膝や床をリズムよく叩いたり、手を振つた

Bさん（横地分類A-6）は、日中多くの時間を居室でのんびりと過ごしていますが、活動は生活スペースから出て活動室に向かいます。日常生活では、模造紙や大きな画用紙に刷毛で大きく丸や三角、直線などを描いています。はじめは紙ではなく違うところを見ていますが、たくさん線が描かれていくと紙をちらちらと見てにこやかな表情になります。何もなかつたところに色がついていくことや、画面の中で色彩が広がり変わっていくことを楽しんでい

A decorative horizontal flourish at the bottom of the page, featuring a stylized branch with several blossoms and leaves.